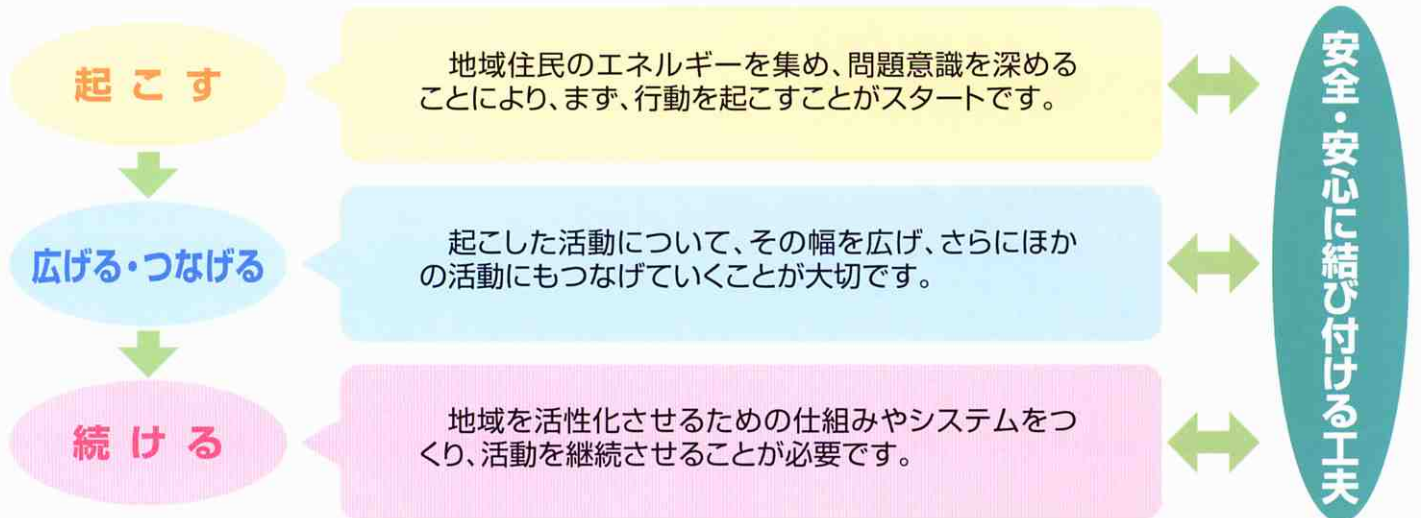


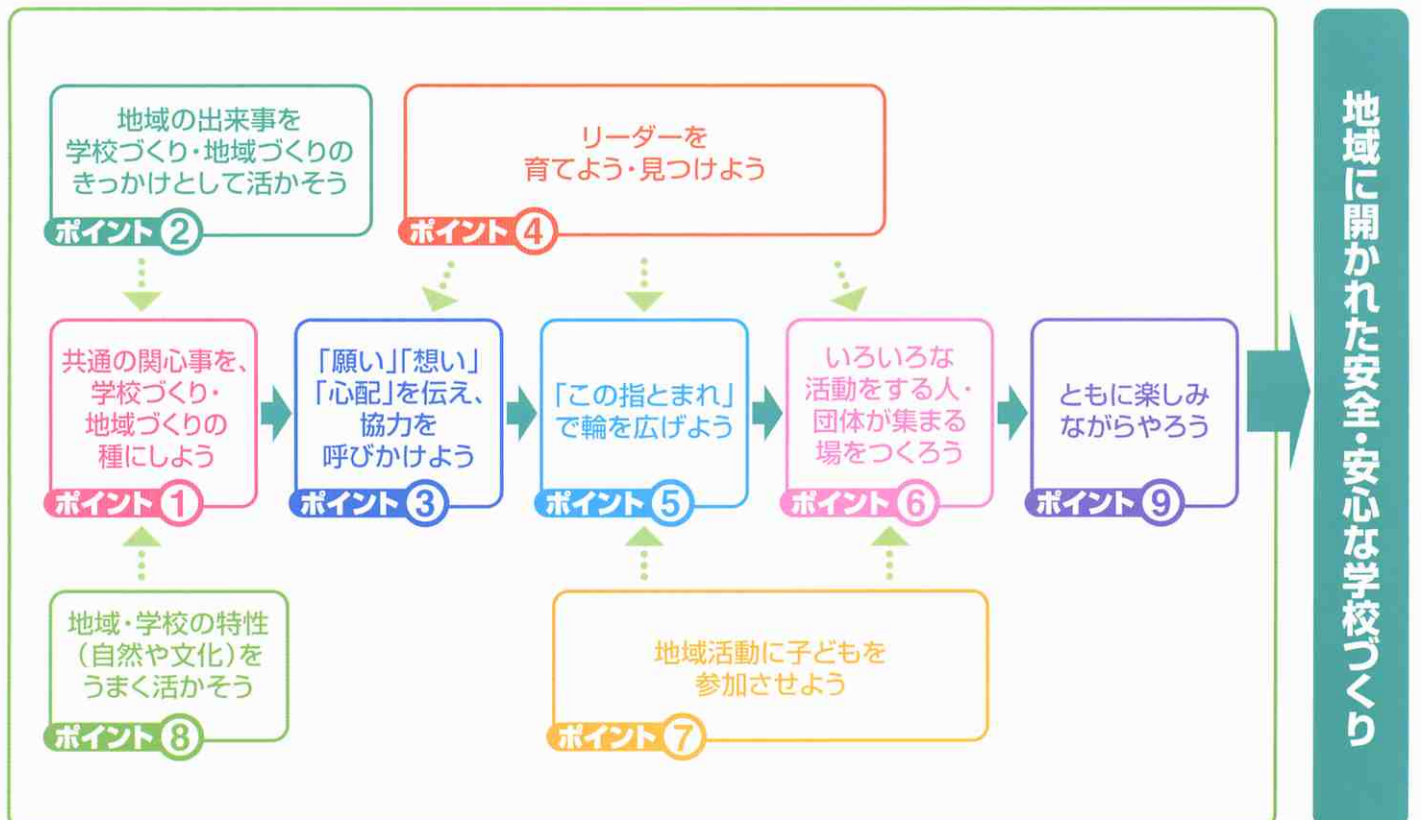
## 地域に開かれた安全・安心な学校づくりのヒント

### 地域に開かれた安全・安心な学校づくりはどのようにして生まれるの？

地域に開かれた学校づくりには、「起こす」「広げる・つなげる」「続ける」の3つのステップがあります。各ステップでの取組を、「安全・安心」に結びつける工夫が必要です。



### 地域に開かれた安全・安心な学校づくりの実現のための9つのポイント



## ポイント① 共通の関心事を、 学校づくり・地域づくりの種にしよう

共通の関心事  
（「安全」「教育」「子育て」「福祉」等）を見出す

- 子ども、学校教育、安全等の地域活動を統合する組織づくりを  
図る。学校づくり・まちづくりについての共通の関心事を束ねる  
活動を構想する。
- 学校と家庭・地域の連携を学校の基本理念に取り入れるなど、  
地域活動のテーマを設定する。



子どもから高齢者までがともに楽しみながら学べる「地域の教育環境」づくりを、学校と地域が相互に参加して築いている。

新潟県長岡市 四郎丸小学校



「歩いて暮らせる街づくり」の事業をきっかけに、学校や自治体、警察等が連携し、通学路などをはじめより安全で豊かな生活環境の実現を目指している。

大阪府豊中市 東丘小学校

## ポイント② 地域の出来事を学校づくり・地域づくりの きっかけとして活かそう

学校づくりやまちづくりの動き（調査、事業等）に参加する

- まちづくり事業をきっかけとして、地域、学校、行政の連携を深める。
- 学校の移転や建て替え、改修において、住民参加による協議の機会などを設け、学校づくりの場で地域、学校、行政の連携を深める。
- 学校を地域と学校の連携の拠点となるように計画する。

## ポイント③ 「願い」「想い」「心配」を伝え、 協力を呼びかけよう

だれか（学校・地域・行政）が実現したい願い、想い、解決したい問題や悩みを伝える・呼びかける

- 自然、福祉、まちなどに関する体験学習の課題や総合的な学習の時間の充実、子どもの遊び場の確保など、実現したいと願うことへの課題を打ち明け、協力を呼びかける。
- 安全なまちづくりを目的とした市民と行政の連携ビジョンの提示や、学校と家庭・地域の三者連携による教育を基本理念にするなど、理念や目標を明確にし、協力を呼びかける。



福祉に関する体験学習の実施に向けた想いが、大学の手話サークルと結びつき、手話劇として実現した。それをきっかけに、保護者の間にも手話を楽しむサークルが立ち上がった。

神奈川県横浜市 倉田小学校



春日井市安全なまちづくり協議会（会長：春日井市長）では、「春日井安全アカデミー」を開校し、「安全」について、より幅広く知識を習得できる機会を設けている。地域の安全・安心づくりのリーダーとして活躍する人材の養成が進められている。

愛知県春日井市

## ポイント④ リーダーを 育てよう・見つけよう！

学校づくりやまちづくりに、学校・地域・行政それぞれの人材が関わる機会を増やし、リーダーシップを発揮できる場を広げる

- 校長や教職員と、地域住民の交流や地域での活動への理解を通じて、教育や学校運営に活かしたい地域の人材を地域活動から探す。
- 学校づくり・まちづくりに、地域住民が様々な形で日常的に関わることで、学校づくり・まちづくりの場でリーダーを見つけ、育てる。

## ポイント⑤ 「この指とまれ」で 輪を広げよう！

有志の活動を集約化し、活動を広めていく体制をつくる

- 学校運営や学習活動への支援・協力等の任意の活動を集めて組織化する。
- 地域住民の組織による自発的な活動を受け止める場をつくる。



学校支援ボランティア制度を小学校と中学校で共有して活用している。住民が様々な場面で活躍でき、また、住民が学校支援を行いやすい環境を充実させることにより、学校と地域住民の日常的な関係を深めている。

東京都八王子市 みなみ野小学校・みなみ野中学校

## ポイント⑥ いろいろな活動をする人・団体が 集まる場をつくろう！

地域活動が、集まり、出会い、情報を共有する場や機会をつくる。そして、地域住民の目で子どもたちを見守る

- 地域住民や地域のまちづくり組織、学校関係者や消防・警察関係者、行政等、各主体の交流の場をつくる。
- 学校の授業と連携した農業体験活動など、地域住民と子どもたちがともに学ぶ場をつくる。
- 余裕教室や空き店舗の活用により、子どもたちと地域住民の交流を育むなど、顔見知りの関係を広げる場をつくる。



余裕教室を活用して、子どもたちと地域住民とのふれあいの空間をつくった。住民が日常的に学校に訪れ、子どもたちを見守る環境ができています。

神奈川県横浜市 倉田小学校

## ポイント⑦ 地域活動に子どもを 参加させよう！

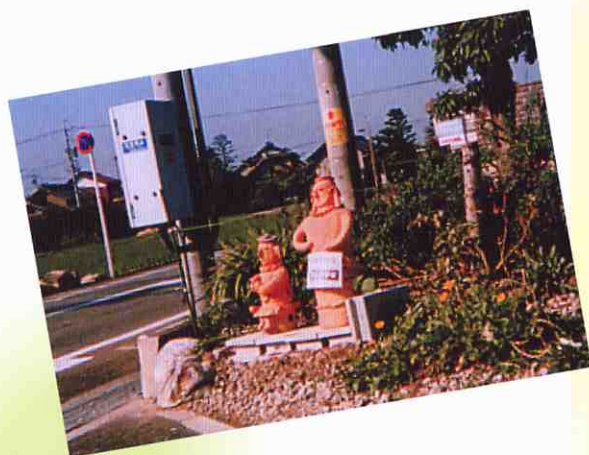
子どもの視点や力(夢を描く力、感覚的に物事をとらえる力、観察力等)を活かした地域への参加の機会をつくり、地域の一員として地域活動に関われるようにする

- 山林を活かした植林活動や、通学路の花壇の維持管理など、子どもと大人が、ともに身近な環境を守り育てる活動を行う。
- 地域のシンボルなどを子どもたちの手作りの作品のテーマとして、まちづくりに活かす。
- 子どもたちの視点による地域安全マップの作成を行うなど、総合的な学習の時間などを活用し、子どもたちが地域の課題に取り組む機会を持つ。



ニュータウンに新しく開校した小学校と中学校が連携し、小学生と中学生が共同で地域の清掃活動に取り組んでいる。

東京都八王子市 みなみ野小学校・みなみ野中学校



史跡公園のシンボル「ハニワ」を避難場所への誘導サインとして活用している。小学生や地域住民の手作りのハニワが、親しみやすい地域の雰囲気をつくりだしている。

愛知県春日井市 白山小学校

## ポイント⑧ 地域・学校の特徴(自然や文化)を うまく活かそう！

地域の持つ環境や文化を学校づくり・まちづくりに取り入れ、親しみやすい活動にする

- 地域の自然を遊びや学びの場として活用することによって、地域資源や地域の課題に新しい価値を見つける。
- 昔の民家を思わせる余裕教室など、地域文化に根ざしたデザインを学校やまちに取り入れる。

## ポイント⑨ ともに 楽しみながらやろう！

子どもから高齢者までが一緒に「楽しめる」共通の目標や活動の仕組みをつくる

- 菜園や休耕田を活用し、子どもたちと地域住民がともに手入れや収穫を楽しみ交流するなど、協働を楽しみ、喜びを分かち合う場を用意する。
- 山林での植林など、時間をかけて「育てる」活動を取り入れ、地域と学校の協力関係が継続するような「未来の楽しみ」をつくる。
- 地域に関わりの深い近隣の団体や、行政、消防、警察、学校関係者などが毎年楽しめる恒例の行事をつくる。



地元農家の山林を学校や地域での自然体験学習の場として活用している。遊び場づくりや「植樹会」等を通じて、百年以上先を見据えて山林を守り、育てる活動としている。

新潟県長岡市 四郎丸小学校